

6章 データベースとテーブルを削除しよう

6章 データベースとテーブルを削除しよう

SQLによるデータベースとテーブルを削除する方法を学びます。

本章の目標

- データベースやテーブルを削除する方法を理解すること
- DROP文の使い方を知ること

6章 DROP文とは

DROP文は、データベースやテーブルを削除するSQL命令です。

- DROPは「落とす」という意味
- 「データベースやテーブルを削除してください」と命令を送るコマンド
- 不要になったデータベースやテーブルを削除するときに使う

重要な注意点

- **データベースを削除すると中身のテーブルも削除される**
- 削除は取り消せないため、十分考慮してから実行する

6章 DROP文の基本的な書き方

```
-- データベースを削除する  
DROP DATABASE データベース名;  
  
-- テーブルを削除する  
DROP TABLE テーブル名;
```

重要な注意点

- データベースを削除すると**中身のテーブルも削除される**
- よって、データベースを削除するときは十分考慮してから行う

| データベースとテーブルを削除するSQL

```
-- データベースを削除する  
DROP DATABASE データベース名;  
-- テーブルを削除する  
DROP TABLE テーブル名;
```

| 重要なポイント

- **DROP DATABASE**でデータベースを削除
- **DROP TABLE**でテーブルを削除
- データベースを削除すると中のテーブルも削除される
- **削除は取り消せない**ため、慎重に実行
- 実行前にSHOW文で確認することを推奨